

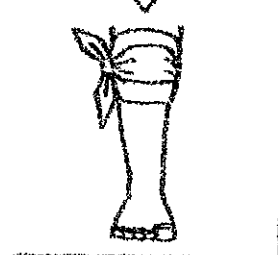
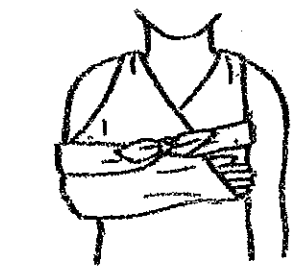
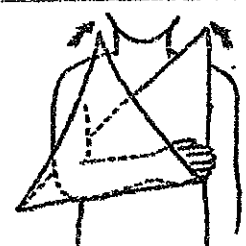
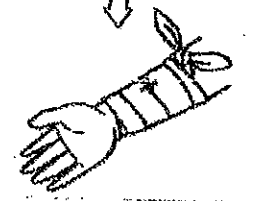
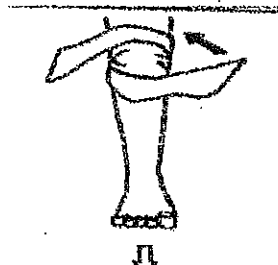
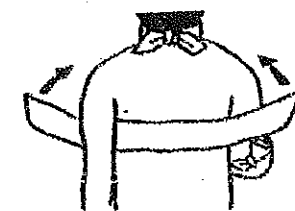
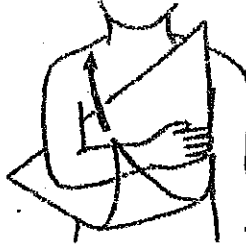
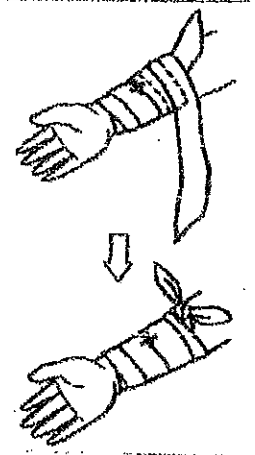
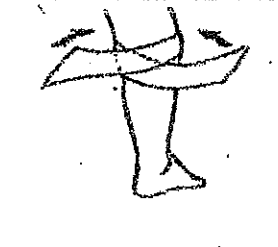
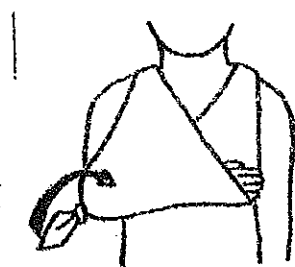
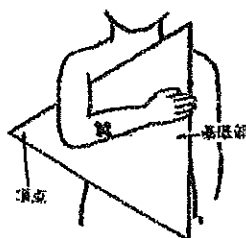
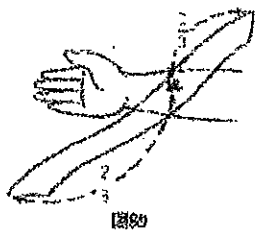
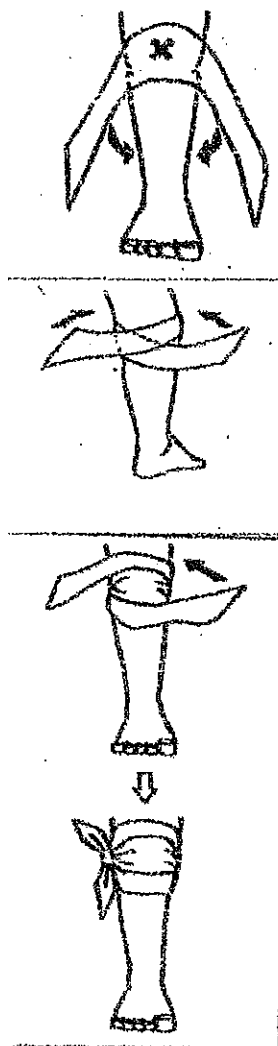
# 三角巾による応急手当法

第二分団自治会連合会

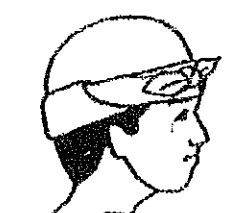
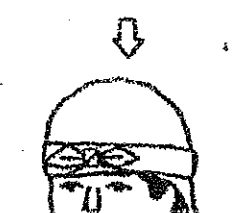
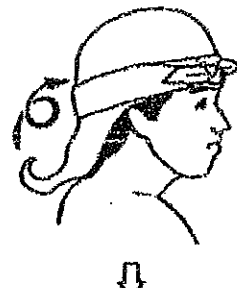
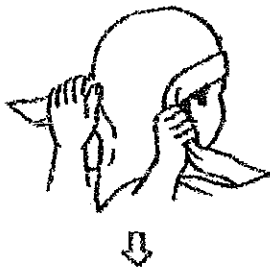
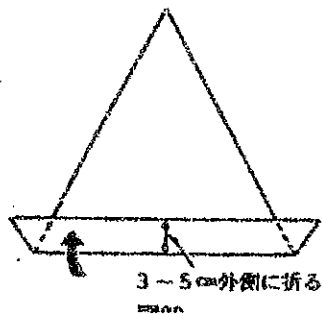
## 膝部・肘部への包帯

## 前腕部・脛部への包帯

## 三角巾の固定包帯



## 頭部の包帯



たたみ三角巾の作成方法

① その1

地面(床面)、衣類等に接触させることなく、手に持ったままの状態で作成し、三角巾の汚染を防止する。

ア 全巾基底部中央を左手で持ち、右手で頂点を持つ(図2-8-9)。

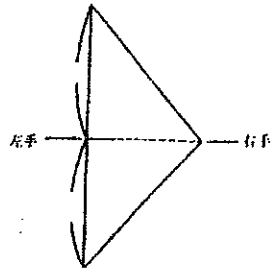


図2-8-9

イ 半巾を作る。

右手、左手ともに拇指を外に出して、他の4指を三角巾の中に入れて、右手(頂点側)を手前(山折り)に折り、左手と右手が合わさるようにし、左手の拇指で頂点を押さえる(図2-8-10)。

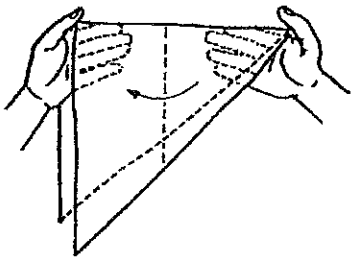


図2-8-10

ウ 右手を手前1枚目と2枚目の間(図は示指~小指まで入っている所)に入れ、折り目の頂点部をつまむ(○印の部分)(図2-8-11)。

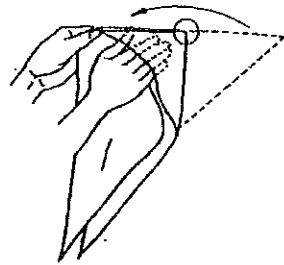


図2-8-11

エ 前ウの頂点を手前に引くように開き、開いた側を外側に返して2つ折りのたたみ三角巾を作成する(図2-8-12)。

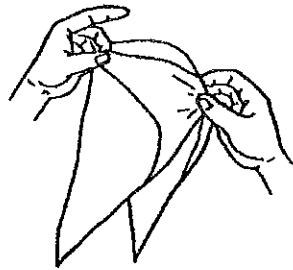


図2-8-12

オ 2つ折りにした後、右、左手ともに拇指を外側に残し、他の4指を内側に入れる(図2-8-13)。

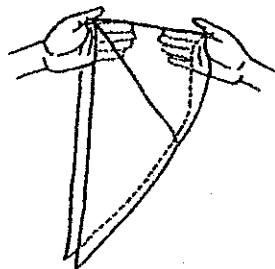


図2-8-13

カ 右手側を手前(山折り)に折り、左手と右手が合わさるようにし、左手の拇指で右手側の

折り目の頂を押さえる。

右手を手前1枚目と2枚目の間(図は第2~5指が入っている所)に入れ、折り目の頂点部をつまむ(図2-8-14)。



図2-8-14

キ 両腕を開いて内側を外側に返して4つ折りのたたみ三角巾を作成する(図2-8-15)。

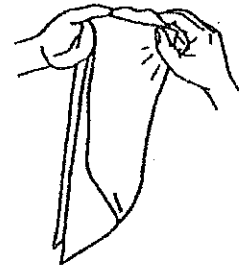


図2-8-15

ク 4つ折りにした後、右、左手ともに拇指を外側にし、残り示指~小指を内側に入れておく(図2-8-16)。

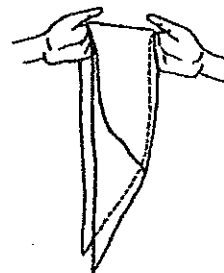


図2-8-16

ケ 右手側を手前(山折り)に折り、左手と右手が合わさるようにし、右手拇指で左手側の

折り目の頂を押さえる。

右手を手前1枚目と2枚目の間(図は示指~小指の入っている所)に入れて、折り目の頂点部をつまむ(図2-8-17)。



図2-8-17

コ 両腕を開いて内側を外側に返して、8つ折りたたみ三角巾を作成する(図2-8-18)。



図2-8-18

サ たたみ三角巾の出来上がり。この方法で、2つ折りから8つ折り三角巾を作成する(図2-8-19)。



図2-8-19